

テーマ「運転免許自主返納」

山田／こんばんは。交通安全委員の山田です。9月の委員会の報告をします。今年度は会議だけではなく毎回勉強会をしています。委員長は「委員としての活動をして少しでも楽しかった、役立ったと思ってもらえるようにしたい」と言われています。

9月のテーマは自動車の運転免許証の自主返納でした。ここの団地も35年ぐらい経って年寄りが増えたので、身近な問題としてこのテーマになったそうです。私も、今回が今までで一番役に立ったように思います。

うちの兄ももうすぐ73才で、「僕は運転歴50年以上のベテラン」と言っていますが、やっぱり歳を感じることも多くなりました。最近には車に傷をつけることも増えました。年齢とともに聴覚、視覚、体力も低下し、記憶力や判断力も若いときとは違います。

皆さんは、この運転免許の自主返納を知っていました？自主返納の制度ができて20年になります。高齢者の交通事故多発がきっかけで始まり、平成18年頃から急速に広がりました。平成18年と去年の自主返納件数を比べると、10倍になっています。

高齢者はどんな事故が多いと思いますか？先日、90才くらいの女性がアクセルとブレーキを間違えて死亡事故になったというニュースがありました。テレビや新聞ではこのようなニュースを取り上げるので、私は高齢者の事故はアクセルとブレーキの踏み間違いが多いと思っていましたが、違うんです。

高齢者は、交差点での事故、例えば赤信号の見落としや信号の手前で追突するといった事故が多いそうです。

交差点ではいろいろなことに注意を向け、素早い正確な判断が必要ですが、高齢者は判断に時間がかかるため、事故を起こすケースが多いようです。脳の一部の血流が悪くなることによる「判断の遅れ」です。

では返納の方法です。勉強会で初めて知ったことが2つあります。

1つめ、この返納に年齢制限はありません。若い人も利用できます。

2つめ、一部返納もできます。例えば自動車の運転免許だけ返納し、バイクの免許だけを持っておくことができます。

手続きに必要なものは4つ。運転免許証、スナップ写真ではない6ヶ月以内に撮影した証明写真、お金、朱肉の必要な印鑑です。1つでも足りないと手続きできません。

それと大事なことですが、免許を返した後は車の運転ができないので、車では行かないでください。バス代も忘れないように。

それから返納者への支援策もあります。うちの地域ではバスとタクシーの割引があります。年間6000円ぐらいの少額ですが。返納者へのサービスは地域によって違います。北海道や東北では公共交通利用の補助が多く、東京や神奈川では買い物優待券やギフトカードが多いそうです。ここまでが勉強会で教えてもらったこと。

でも、車が運転できないと不便になるので、返納を迷う方もあるかもしれません。

そこで提案ですが、助け合いの制度を作ってはどうか。具体的には、私たちのような仕事や子育ては卒業したけれど、まだ高齢者にはなっていない世代が、返納された方の病院や買い物の送迎をするという、この学区で運転ボランティアみたいなことができればよいと夢みたくも思っています。

それはまた今度の話として、報告はこれで終わります。以上。

山崎／住吉交番の巡査長、山崎です。着任して10月でちょうど1年、住吉学区のみなさんの温かさも感じています。今日は短い時間ですが、よろしくお願いします。

住吉学区の「防犯教室」にお招きいただき、ありがとうございます。良い機会をいただき喜んでいきます。

今日は年々増加傾向にある「特殊詐欺」についてお話することになりました。去年の件数は前年の3割増で、日本国中あちこちでたくさん発生をしています。

「特殊詐欺」とはどんな詐欺か、お分かりの方は手を挙げてください。

ありがとうございます。手を下ろしてください。一般的には、「オレオレ詐欺」や「振り込め詐欺」と言っています。

昨年度に多発した特殊詐欺の例を紹介します。まず1つめは、銀行のカードをだまし取って、現金を引き出す詐欺です。公的機関の職員などを名乗り、「カードの更新時期がきている」、「口座とカードが不正に使われている」などと言って、だまし取ったカードから現金を引き出すという手口です。

2つめは一番有名な「オレオレ詐欺」です。息子などを名乗って、「事故を起こした」「会社のお金を落とした」など「急にお金が必要になった」と親や祖母に電話をしてだまし取ります。

被害者の約76%が65歳以上、4人に3人が高齢者です。しかも特殊詐欺の手口を知る人が多く被害に遭っています。

なぜ、特殊詐欺を知っていた人がだまされてしまうのか。私はだまされないから大丈夫と思って対策をしていないからです。息子を何とか助けなくてはと犯人グループを信じてしまいます。

覚えておいてほしいことが2つあります。第1に電話でお金の話はしてはいけません。

第2は振り込む前に本人や家族、警察に相談してください。効果的な対策として、留守番電話設定にしておくことをおすすめします。犯人と直接話をしなくてすみますし、犯人は録音されることを嫌がって電話を切ります。

警察では、「防犯教室」開催など、特殊詐欺撲滅に取り組んでいます。

1分ほどの短い動画を作り、高齢者がたくさん集まる場所で繰り返し放映するなど、特殊詐欺被害の撲滅に向けた広報啓発を進めています。警察のホームページでも見られます。「特殊詐欺 動画」で検索してみてください。

皆さんも日ごろから対策をしていただくとともに、他の人にも教えてあげてください。

最後に交番から2つお願いがあります。

1つめ。地域の情報を提供してください。ちょっと気になることがあった場合は、住吉交番まで電話をください。電話番号は31-3000、ファックスは31-3001です。

2つめ。今後とも防犯ボランティアをよろしくお願いします。昨年の住吉学区の犯罪件数は、前年と比べて大きく減少しました。これは、地域の皆さんの子どもの見守りや防犯パトロールのおかげです。

引き続き、交番もがんばりたいと思います。以上。